

平成二十四年度仏教学部彙報

◇平成二十四年度仏教学部開講科目

【禅学科】

○宗教教育科目

《必修》

仏教と人間

熊本 英人

《選択》

坐禅（半期）

熊本 英人・池上 光洋

同

角田 泰隆・池上 光洋

○教養教育科目

《選択》

総合Ⅰ〔仏教と社会〕

熊本 英人

総合Ⅰ〔仏教と芸術〕

村松 哲文

○専門教育科目

《必修》

仏教学入門

岩永 正晴

仏教学入門

片山 一良

仏教漢文入門

須山 長治

仏教語・禅語解説程

正・奥野 光賢

中国禅宗史

石井 修道

坐禅Ⅰ

角田 泰隆・岩永 正晴

同 永井 政之・松田 陽志

同（再） 佐藤 秀孝・松田 陽志

仏典・禅籍解説 松田 陽志・四津谷孝道

宗教学概論 矢野 秀武

宗教学概論 長谷部八朗

日本禅宗史 佐藤 秀孝

禅思想概説 石井 修道

宗典 松田 陽志

宗典 角田 泰隆

仏教・禅教団論 熊本 英人・吉津 宜英

演習Ⅰ（狂雲集） 飯塚 大展

同（阿毘達磨俱舍論） 池田練太郎

同（梵網經菩薩戒本疏） 石井 公成

同（情報処理） 石井 清純

同（景德伝灯録） 石井 修道

同（正法眼蔵問解） 岩永 正晴

同（妙法蓮華經） 奥野 光賢

同（如是語経） 片山 一良

同（インド思想史・文化史） 金沢 篤

同（インド思想と俱舍論） 木村 誠司

同（仏光禅师行状） 佐藤 秀孝

同（正法眼蔵） 角田 泰隆

同（林間録） 永井 政之

同（宗教儀礼） 長谷部八朗

同（明句論） 松本 史朗

同（東アジア中道思想論） 吉津 宜英

同（チベット語文献） 四津谷孝道

同（日本の仏教と近代） 熊本 英人

同（江戸宗学の嗣法制度） 松田 陽志

同（七大寺巡礼私記） 村松 哲文

同（東アジアの唯識思想） 吉村 誠

同（宛陵録） 程 正

同（見聞宝永記） 池上 光洋

同（弁頭密二教論） 藤井 淳

演習Ⅱ（演習Ⅰに準ず） 池田練太郎

《選択必修》 矢島 道彦

インド仏教史 四津谷孝道

パトリ仏教史 吉村 誠

チベット仏教史 石井 公成

中国仏教史 飯塚 大展

朝鮮仏教史 日本仏教史

禅籍講説Ⅰ（中国初期禅籍） 程 正

禅籍講読Ⅱ（禅宗清規）	佐藤 秀孝	外国語禅書講読	古山 健一	禅心理学	池上 光洋
禅籍講読Ⅲ（学道用心集）	岩永 正晴	禅学特講Ⅰ	休 講	心理学概論	間島 英俊
仏典講読Ⅰ（維摩經）	藤井 淳	禅学特講Ⅱ	休 講	パーリ語初級	片山 一良
仏典講読Ⅱ（三論玄義）	奥野 光賢	禅学特講Ⅲ（正法眼蔵の背景）	清野 宏道	パーリ語上級	古山 健一
仏典講読Ⅲ（沙石集）	飯塚 大展	禅学特講Ⅳ（曹洞宗教団史）	伊藤 良久	サンスクリット語初級	金沢 篤
仏教民俗学	佐藤 憲昭	仏教特講Ⅰ（中辺分別論）	新井 一光	サンスクリット語上級	金沢 篤
《選択》		仏教特講Ⅱ（遺教經）	山本 元隆	チベット語初級	松本 史朗
宗教史	長谷部八朗	仏教特講Ⅲ（葬祭史）	徳野 崇行	チベット語上級	木村 誠司
インド仏教文化史	金沢 篤	仏教特講Ⅳ（中国医学）	渡邊 幸江	中国古典語Ⅰ	吉村 誠
中国仏教文化史	程 正	教化法	永井 政之	中国古典語Ⅱ	小川 隆
日本仏教文化史	藤井 淳	青少年問題研究	讃岐真佐子	ラテン語	上野 勝広
日用経典	飯塚 大展	青少年指導演習	渡邊 浩司	仏教文献学	堀川 貴司
インド哲学史	金沢 篤	宗教法概説	村上 興匡	中国文学	休 講
中国哲学史	前川 亨	漢詩作法	須山 長治	禅美術	村松 哲文
日本哲学史	久保 陽一	書 道	綾部 宏行	仏教美術	村松 哲文
インド仏教思想史	松本 史朗	キリスト教概論	土居 由美	坐禅Ⅱ	佐藤 秀孝・松田 陽志
中国仏教思想史	吉津 宜英	イスラム教概論	山崎 和美	【仏教学科】	
原始仏教	片山 一良	哲学概説	杉田 正樹	○宗教教育科目	
真言学概説	藤井 淳	宗教哲学	河谷 淳	《必修》	
浄土学概説	曾根 宣雄	現代哲学概説	久保 陽一	仏教と人間	長谷部八朗
真宗学概論	休講（隔年）	宗教教育	小山 一乗	《選択》	
日蓮教学概論	休講（隔年）	新宗教概説	休 講	○教養教育科目（選択）	
外国語仏書講読	木村 誠司	神道概説	嵐 義人		

(禅学科と共通)

○専門教育科目

《必修》

仏教学入門	岩永 正晴
仏教学入門	片山 一良
仏教漢文入門	石井 公成
仏教漢文入門	吉村 誠
仏教語・禅語解説程	正・奥野 光賢
坐禅Ⅰ	角田 泰隆・岩永 正晴
同	永井 政之・松田 陽志
同(再)	佐藤 秀孝・松田 陽志
仏典・禅籍解説 松田	陽志・四津谷孝道
宗教学概論	矢野 秀武
宗教学概論	長谷部八朗
仏教思想概説	池田練太郎
宗典	松田 陽志
宗典	角田 泰隆
仏教・禅教団論 熊本	英人・吉津 宜英
演習Ⅰ(禅学科・演習Ⅰに同じ)	
演習Ⅱ(演習Ⅰに準ず)	
《選択必修》	
インド仏教史	池田練太郎
バリー仏教史	矢島 道彦

チベット仏教史

中国仏教史

朝鮮仏教史

日本仏教史

中国禅宗史

日本禅宗史

禅籍講読Ⅰ(中国初期禅籍)

禅籍講読Ⅱ(禅宗清規)

仏典講読Ⅰ(維摩經)

仏典講読Ⅱ(三論玄義)

仏典講読Ⅲ(沙石集)

仏教民俗学

《選択》

(他は禅学科と共通。必・選区分の異動あり)

《選択》

◇教員消息

▽晴山俊英教授は、平成二四年四月一日

より在外研究(国内)として、駒沢女

子大学で研究されることとなった。

▽片山一良教授は、平成二五年三月三一

日をもって定年退職し、同年六月二六

日をもって名誉教授となられた。

◇教員出版書目

▽石井公成(共著)『藏外地論宗文献集

成』CIR(ソウル)、二〇一二年六月。

▽石井修道(訳注)『原文対照 現代語訳

道元禅師全集 正法眼蔵9』春秋社、

二〇一二年四月。

▽石井修道『唐代の禅僧 石頭 自己完結

を拒否しつづけた禅者』臨川書店、二

〇一三年二月。

▽石井清純・角田泰隆『禅と林檎ス

タイプ・ジョブズという生き方』宮

帯出版社、二〇一二年四月。

▽片山一良(訳)『バリー仏典第三期相

応部(サンユッタニカーヤ)有偈篇

Ⅱ』大蔵出版、二〇一二年四月。

▽片山一良『バリー仏典にブツダの禅定

を学ぶ『大念処経』を読む』大法輪閣、

二〇一二年八月。

▽角田泰隆『道元入門』角川学芸出版、

角川ソフィア文庫、二〇一二年十一月。

▽角田泰隆(編)『別冊太陽 日本のごこ

ろ道元』平凡社、二〇一二年六月。

▽吉村 誠(訳注)『新国訳大蔵経 中国

撰述部 史伝部 続高僧伝Ⅰ』大蔵出版、二〇一二年一〇月。

▽藤井淳（共著）『日本をつくった名僧一〇〇人』平凡社、二〇一二年九月。

◆仏教学部受入研究員

▽趙 明済 大韓民国・新羅大学校助教
授。平成二五年二月一日から平成二六年一月三二日まで。石井修道教授。

◆海外出張

▽石井清純教授は、平成二四年六月二三～二四日に、大韓民国・ソウルの東国大学校で開催された看話禅国際カンファレンスに出席された。

▽金沢篤教授は、平成二四年八月一三～二一日に、オーストリア・ウィーンのウィーン国立文書館、ドイツ・ライプツィヒのドイツ国立図書館ライプツィヒ館、同国・ドレスデンのザクセン州立図書館にて資料調査された。

▽藤井淳専任講師は、平成二四年一〇月九日に、大韓民国・論山市の金剛大学

校で開催されたセミナーに出席し、「奈良・平安時代の古写経と日本に存在する高麗時代の写経の伝存状況について」と題して発表された。

▽奥野光賢教授は、平成二四年十一月二三、二四日に、大韓民国・論山市の金剛大学校で開催されたセミナーに参加し、「吉蔵の中観思想」と題して発表するとともに、ワークシヨップで吉蔵撰『中観論疏』の講読を行った。

◆駒澤大学仏教学会消息

（１）公開講演会

▽平成二四年一〇月一三日（土）
「重要文化財『正法眼蔵山水経』の筆者について」

元神奈川県立金沢文庫長 高橋 秀榮
（２）定例研究会

▽平成二四年一〇月一三日（土）
「道元禅師における「ざとり」と誓願」
大学院研究生 西澤まゆみ
「大本山總持寺における住持制度について」

非常勤講師 伊藤 良久
「真字『正法眼蔵』伝承史の側面（二）——面山瑞方と『三百則』——」

仏教学部准教授 池上 光洋
「仏教と芸能」

▽平成二五年一月二六日（土）
仏教学部教授 石井 公成
「禅宗の講式研究について」

大学院博士課程 ミヒヤエラムロス
「Yogabhasya III-17 再考」

大学院博士課程 和田 悠元
「大学生の自己意識と健康観」

非常勤講師・学生相談室常勤
カウンセラー 渡邊 浩司
「中観帰謬派における自立論証批判」

仏教学部教授 四津谷孝道
（３）退任記念講演
▽平成二五年一月二六日（土）

「仏の美学 ——聖なる沈黙——」
仏教学部教授 片山 一良